

総務部

1. 行政運営について（門屋、下岬区、上朝比奈、中原区、佐倉一区、佐倉二区、新神子区、白浜区、早苗町、大山、佐倉三区）

意見 1 15年～20年後の財源見通しは。

【回答】 財源は、原子力発電所の固定資産税だけでは無理だ。将来的な財源、雇用の確保を期待できる企業誘致を積極的に働きかけていく。

意見 2 御前崎サンホテルと国民宿舎の跡地の利用方法を教えてほしい。

【回答】 サンホテル跡地は、住民から意見をもらい、議会に理解を求めていきたい。国民宿舎跡地も、地域から意見をもらいたい。

意見 3 助役若しくは県の職員が出前講座へ出席することが可能か。

【回答】 可能。

意見 4 本庁方式をとったにも関わらず、今年から教育委員会を支所に移したのか。

【回答】 合併した後、状況をみながら融和を図ってきた。支所に移すことにより、活気が出ると考えた。

意見 5 NTTではなくCATVの電話を、郵送ではなくCATVのFAXを使用する。CATVの番組表も町内会を利用して配布するなど経費節減をすべきである。

【回答】 経費節減に努める。FAXや番組表については、加入率や班外の対応などもあるので、検討していきたい。

意見 6 建築や土木の入札は、適正に執行されているのか。

【回答】 営繕室を設置し、図面や積算のチェック体制を整えた。適正に執行している。

意見 7 財政の無駄を省くべきだ。団体への補助金も見直しをすべきだ。

【回答】 無駄遣いをなくすことは当然である。補助金もその公共性・公平性を考慮しながら見直している。

意見 8 3月に駆け込みの工事が増える。予算を残すことはできないか。

【回答】 3月ですべて予算を使い切ることはない。現に16年度も予算を残している。

意見 9 市職員も夏場はノーネクタイを実施したらどうか。

【回答】 検討はするが、私（市長）を含めて職員が諸先輩方や企業の方々に失礼な対応はできない。

意見 10 合併特例債等でどのような事業ができてしているのか。

【回答】 特例債は新市として一体的に整備されるCATVなどへ使われた。また、県の事業でサンホテル前の道路のかさ上げ、国道150号線の4車線化などが実施されている。

意見 11 地方交付税は、合併2年も経ってなぜ交付されるのか。

【回答】 地方交付税は旧御前崎町のものが制度に則って県から交付されたものだ。

意見 12 合併して現在までに良くなったことを具体的に教えてほしい。

【回答】 ふたつの町がひとつになって、それぞれ知恵を出しあって新しいまちづくりを進めていけることが第一のメリット。水深14mの国際貿易港があり、両町の伝統や歴史などが融合して、魅力ある街になった。手を携えてひとつの方向に進んでいくことが大事である。これから多少の痛みを伴っても将来を見据えた行政改革をしていきたい。

意見13 アスベスト問題は、公共、民間施設を含め使用状況を調査しているのか。

【回答】 公共施設は工事の設計業者に調査依頼して調査している。結果は公表していきたい。水道石綿管は全体の1%、約4,000mで早々に取り換えていく。

意見14 市の予算がどのように使われたかわかりにくかった。

【回答】 広報しているが、市役所で予算書を閲覧できる。

意見15 三位一体改革によって、財政が厳しくなる。知恵を出し合って市政に取り組んでほしい。

【回答】 各分野で知恵を出し合いやっていきたい。

意見16 女性の参画、女性職員の幹部登用を積極的に行ったらどうか。

【回答】 各種委員会などにも積極的に女性の参画を働きかけている。女性職員の幹部登用についても同様に考えている。

意見17 市役所の職員の削減は考えていないのか。

【回答】 行政サービスを維持していきながら長期的に考えていく。

要望1 「原子力発電の街」ではなく「光、エネルギーの街」のイメージを作ってもらいたい。

2. 町内会について（門屋、佐倉二区、中町）

要望1 市が町内会への加入の促進をしてほしい。

【回答】 行政指導していく。

要望2 町内会を掘り起こし、これから何が必要か勉強させていただきたい。

意見1 企画調整課のコミュニティ活動支援助成金制度は、宣伝していくべきである。

【回答】 行政として積極的にPRし、助成していきたいと考えている。

意見2 班外世帯の増加について、どのような対策を考えているのか。

【回答】 町内会加入を促進し、地域の意見を聞き、検討委員会を設置して考えていく。

3. 職員について（上比木、上岬、佐倉二区、本町、佐倉一区、佐倉三区）

意見1 若い職員の意見を取り入れて、経費節減や市民サービスにあたってほしい。

【回答】 若い人、女性の意見を積極的に行政に反映していく。

意見2 公用車を支所入口付近に駐車するのをやめて市民のために空けてほしい。

意見3 財政が厳しいなかで、家庭のお金だと思って適正に予算を執行してほしい。

意見4 職員の名札の位置を徹底してほしい。

意見5 職員の目が住民に向けられていない。接客態度もよくない。

意見6 職員の接遇について2件相談があった。事業部に多く見受けられる。

【回答】 徹底する。

4．広報について（佐倉二区、本町）

意見1 職員研修の報告書を公開してほしい。

【回答】 職員研修は、積極的に派遣している。研修のすべてに復命書を提出させているが、内容は公表していない。来庁いただければ公開する。

意見2 インターネットで、市民の意見要望を聞いてもらうことが出来ないか。

【回答】 詳細はこの場で回答ができない。

5．市政懇談会について（下岬、大山）

提案1 市政懇談会を地域で企画運営していけばどうか。

要望1 タウンミーティングの質疑と答弁を公開してほしい。

【回答】 全て終了したら公開する。

6．総合計画について（門屋、合戸、下岬区、上朝比奈、新谷区、新野西）

意見1 将来の施設などの長期的な考え。

【回答】 耐震性や地盤沈下などを考慮し、総合計画に取り入れ、関係部署と調整している。

意見2 少子高齢化について対策は。

【回答】 具体的な政策は現在検討中である。

意見3 浜岡荘の跡地の利用について教えてほしい。

【回答】 高松幼稚園の建設計画はあるものの、まだ決まっていない。地元の意向も聞かせてほしい。

意見4 市の重点施策のメインは。

【回答】 御前崎は港を活かした企業誘致を進めながら発展していくものと考えている。雇用を確保し、財政的に恵まれた環境を目指す。農業、商工業へも手を差し伸べていく。

意見5 朝比奈地区、新野地区、比木地区について。

【回答】 行政としても見直しを考えている。

要望1 町民会員として参画し、提案したことを新市の総合計画に取り込んでほしい。

【回答】 今までの問題、提案について再度確認して必要なものは取り込んでいきたい。

要望2 計画に多くの市民の知恵を集めてほしい。

【回答】 策定次第、市内の多くの人に目を通してもらいたい。

7. 国際交流について（雇用促進）

意見1 ポルトガル語の通訳はどこで対応してくれるのか。

【回答】 今年度から企画調整課内に国際係を設けた。そこで対応する。

8. 防災・防犯対策について（上比木、門屋、合戸、下岬、女岩、西側、上朝比奈、広沢、女岩区、中原区、新谷区、薄原区、佐倉一区、新野東、新野西、新神子区、本町、東町、大山、白羽区、白浜区）

要望1 土砂崩れの危険地帯に早急の対応を願う。

【回答】 国、県に陳情を働きかけるとともに、危険箇所のチェックもしている。

提案1 近所の住人の安否を確認できる家庭の近くに、第1次避難場所が必要だと思う。

【回答】 災害に強いまちづくりを目指し、防災マニュアルの参考にする。

要望2 防犯灯を計画的に設置してほしい。

【回答】 今年度100基予算付けした。来年以降は増やしていきたい。

意見1 津波の際の避難場所がない。

【回答】 避難所の調査研究をしている。

要望3 避難路の整備、再点検を願う。

【回答】 道路は再点検をしていく。

意見2 文化会館が避難所ときているが、受け入れ態勢が整っているのか。

【回答】 備蓄品は白羽の体育館横の倉庫にある。物により有効年数があるので入れ替えをしている。

意見3 ヨウ素剤をどのように各家庭に配るのか疑問だ。

【回答】 紛失、誤飲があってはならないので、家庭へ配布できない。配布は医者と職員で防護服着用の上配布する。

意見4 市内にはアマチュア無線の資格者はどれぐらいいる。

【回答】 佐倉地区のアマチュア無線の有資格者の名簿によると約40名いる。

意見5 普段からどのような備えをしておくべきか。

【回答】 ある程度小規模な単位で避難場所を考えてもらいたい。

要望4 防犯灯設置について検討してほしい。

【回答】 今後増やしていきたい。

要望 5 津波の際の避難路を整備すると同時に海拔の標示をして欲しい。

【回答】 県と協議し検討している。

要望 6 津波の警報を海水浴客にもわかりやすく広く知らしめて欲しい。

【回答】 研究する。

要望 7 御前崎郵便局南の玉葱道路交差点に信号機の設置を要望する。

【回答】 榛原警察署へ要望する。

意見 6 市が各区に最低一日分の非常食を用意することは可能か。

【回答】 市に3日分の食料が備蓄してある。区への配布は管理面の問題があるので難しい。

意見 7 津波避難訓練は、観光客と市民のどちらが主体で、具体的にどのような訓練だったのか。

【回答】 市で計画し、マリンパークにいる海水浴客を主体にした。津波監視班と観光協会とタイアップして誘導などをした。また、海岸の現況を映像で本部（御前崎支所）に送り、本部からも指示できるように訓練した。津波警戒の旗があまり知られていないので、市民には徹底していきたい。

要望 8 火災の同報をしっかりと行ってもらいたい。

【回答】 御前崎地区の同報無線は、今年度から更新することとした。署の職員の対応についてはお詫びする。

意見 8 消防施設の老朽化が著しい。ホースを干す施設もない。訓練、演習のサイレンに驚く。先に訓練と分かるように伝えてほしい。

【回答】 施設は順次改修する。訓練、演習のありかたや火災の際の出動形態については本部役員を通じて通達されている。団員には敬意を表する。

意見 9 地震対策について、どう考えている。

【回答】 「自分の命は自分で守る」を基本に、隣保班で身近な防災体制を整えてほしい。

提案 2 災害時拠点となる公共施設の耐震性と機能を防災マニュアルに公表すべきである。

【回答】 拠点すべてが満足しているわけではない。公表は検討させてほしい。

要望 9 原子力災害が起きた場合、屋内退避となっているが、新神子区には建物が無い。近くに非難ができて、通常使える建築物を作ってほしい。

【回答】 避難所の必要性は常々考えている。課題として預かる。

意見 10 防犯灯の設置は行政が助成してくれるが、電気代も何か良い助成方法はないか。

【回答】 負担については検討する。

意見 11 昨年の台風 22 号の際に市役所に連絡しても職員がいなかった。

【回答】 市役所に待機していたが、すべて出払っていた。

要望 10 市に消防署を作ってもらえないか。

【回答】 当面は広域施設組合として現状どおりになる。消防署には伝える。

意見 12 青少年補導員から「高校生が背後から胸を触られた事件が起きた」と相談を受けたが今後どう対応していくか。

【回答】 警察官のOBを採用し、パトロールする。

意見 13 ヨウ素剤の保管場所を教えてほしい。

【回答】 ヨウ素剤はオフサイトセンターに保管してある。誤飲等があるため、各戸に配布はしない。

要望 11 同報の午後5時の子どもの声を夏休みだけでなく続けてもらえないか。

【回答】 学校と検討する。

意見 14 同報無線の試験放送を風のない日に行っても意味がない。

【回答】 防災課と検討する。

意見 15 火災のサイレンが長過ぎる。うまい伝達方法を考えてほしい。

【回答】 消防法も関係するので市独自で決めることもできない。消防署等と検討したい。

意見 16 原子力発電所で災害が起こった場合、市民はどのような対応をすればよいのか。

【回答】 原子力防災訓練を年1回行っているが、浸透しているのかが心配である。国策である以上国県に働きかけて訓練の周知を呼びかけたい。

要望 12 原子力発電所内で起きた火災は迅速に伝えてほしい。

【回答】 情報の伝達が円滑でなかった。中部電力へは厳しく注意した。

意見 17 原子力発電所で事故等が起きた場合、市の防災体制は。

【回答】 全ての災害に対して、防災監が指揮をとる。

要望 13 街灯の電灯交換についてすぐ対応できるよう改善してほしい。

【回答】 早々に統一して対応できるよう改善する。

9. 港湾振興について(下岬区、大山区、女岩区、新谷区、新神子区)

意見 1 マリンパークの駐車場をもっと近くにつくる計画はないのか。

【回答】 現段階では難しい。

意見 2 オートキャンプ場は今つくる必要があるのか。

【回答】 県の事業なので、このような話がでたことは伝える。

意見 3 マリンパークの駐車場は、離れていないと思う。

意見 4 地震発生時に西埠頭から避難するのに橋が一本しかない。

【回答】 土木事務所に報告しておく。

意見 5 「港の開発」その構想とは。

【回答】 海を楽しませるため、学校と指導者で子供を育てていく。また、マリンパークの対策として、県事業のオートキャンプ場を生かした観光を兼ねた構想を考えている。

意見 6 御前崎港の防潮堤は手動である。電動にすべきだ。

【回答】 御前崎土木事務所に働きかけていく。

意見7 住民でありながらマリーナの申請手続きに苦労した。簡易にできないか。

「海の駅」の計画はないのか。

【回答】 マリーナは第三セクターへ管理を委託している。市の窓口は港湾振興室になる。

「海の駅」も委託先と相談したい。

10. 原子力発電所について（下岬区、広沢区、佐倉二区、上比木、白浜区）

意見1 原子力発電所の1号機2号機は耐用年数が経過したらどうなるのか。

【回答】 廃炉の問題は中電(株)とも協議をしていない。

意見2 原子力発電所1号機は、いつまで営業運転し、地震に耐えることができるか。

【回答】 1・2号機の営業運転時期については、必要であれば中部電力に説明させる。

意見3 何が起きるかわからない時代だ。プルサーマルを簡単に合意してほしくない。

【回答】 この時代に資源のリサイクルは必要だ。計画は、必要段階になれば報告する。

意見4 プルサーマル計画が実施された場合どれくらい恩恵があるか。

【回答】 具体的にどのような恩恵があるのかははっきりしない。

要望1 原子力発電所で、事故や問題が起こった際、情報公開をしてほしい。

【回答】 最近は些細なことでも発表し、ホームページで公開するようになった。

11. その他（門屋、上岬区、雇用促進、白浜区）

要望1 「旧浜岡町」、「旧御前崎町」はやめて「浜岡地区」、「御前崎地区」と表現してほしい。

【回答】 努力していきたい。

要望2 ケーブルTVの音声告知の「訃報」を浜岡地区だけにはできないか。

【回答】 全市同じ情報を送ることが大切だと考える。

意見1 市のバスは禁煙にならないのか。また公用車も禁煙にできないのか。

市の歌をつくると聞いているが、その後どうなったのか。

【回答】 バスはすでに禁煙にした。公用車の件については徹底する。歌は多くの方に楽しんでもらえるよう、いい歌にしていきたい。

意見2 外国人の納税方法で年4回の納期に収めるのは額も多く払えない。給料から引いてもらうことは出来ないか。

【回答】 企業や事業主に協力してもらいたい。

要望3 固定資産税の宅地の評価を安く見直してほしい。

【回答】 評価も適正である。標準税率で賦課している税を安くすることは出来ない。行政サービスで市民に還元していきたい。

評価は3年に1度のサイクルで見直している。来年度がそれにあたる。旧浜岡の都市計画の用途区域は路線下方式を取り入れているが他は個別方式となる。結果がでないといけないが、大きな変動はないだろう。